

自助 自分と家族の命を自ら守りましょう

くまもと防災宣言

地域で備え、災害時には助け合いましょう 共助

早めの避難を心掛けましょう

夜間や大雨時は、避難そのものが危険になります。大雨が予想される場合には、本格的に雨が降り出す前の、明るい時間帯に安全な場所に避難する「予防的避難」を心掛けましょう！



あなたと家族のマイタイムラインを作りましょう

マイタイムラインとは、自然災害から身を守るためにあらかじめ一人ひとりの避難行動をまとめておく「防災行動計画」です。



ステップ 01 まずは地域の「災害リスク」を知ろう！

ハザードマップなどで自分の住む地域の災害リスクを知りましょう。防災情報の読み方を理解し、自分のとるべき行動を把握することも大切です。

ステップ 02 マイタイムラインを作成しよう！

「くまもとマイタイムライン」専用WEBサイトでは、自分の住む地域の情報を入れるだけで、誰でも簡単にマイタイムラインを作成し、保存や印刷をすることができます。作成をお手伝いする動画も掲載していますので、ご活用ください。

ステップ 03 家族で共有し、みんなで活用しよう！

作成後は、自分のスマートフォンやパソコンに保存するとともに、自宅の目につくところに掲示するなどして家族と共有しましょう。

専用WEBサイトはこちら



梅雨などの雨が多く降る時期は、自然災害が発生しやすく、より一層の備えが必要です。県では、熊本地震や令和2年7月豪雨の経験・教訓を生かし、災害から命を守るため、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないため、「くまもと防災宣言」を策定しました。「自助」「共助」「公助」それぞれの視点から、防災の取り組みを続けていきましょう。



私からのおたよりです

熊本県知事 蒲島郁夫

一.ひとりひとりが、災害から自分の命を守るため、
早めの避難を心がけます

一.もしもの時に備えるため、
家族や地域で話し合います

一.困っている人を支えるため、
地域で声を掛け合います

一.誰一人取り残さない社会を実現するため、
県民総ぐるみで防災活動に取り組みます

命と自然を守る 蒲島郁夫

地域で防災活動に取り組みましょう！

～自主防災組織の活動を知っていますか？～

災害発生時は、住民同士の助け合いが大きな役割を果たします。自主防災組織とは、地域住民が一緒になって防災活動に取り組むための団体です。日頃から災害に備えた訓練や啓発、地域防災計画の作成等を行っています。



【問い合わせ先】お住まいの市町村

活動例)リアルハザードマップの整備

令和2年7月豪雨で大きな被害があった南東地域を中心に、自主防災組織と市町村が連携し、建物や電柱などに想定浸水深や避難場所等を明示する標識「リアルハザードマップ」の整備が進んでいます。



設置の様子 (人吉市下林町)



設置されたリアルハザードマップ (多良木町)

防災について学びましょう

▶「地域防災活動支援プログラム」(自主防災組織訓練メニュー集)には、自主防災組織の平常時の活動プログラムが掲載されています。県ホームページで公開していますので是非ご覧ください。



▶防災に関する専門的知識や技術等を持つ地域防災リーダーを養成するため「火の国ぼうさい塾」を開催しています。【問い合わせ先】危機管理防災課 ☎096-333-2811



火の国ぼうさい塾(芦北町)

公助 県と市町村等が連携して防災に取り組んでいます



災害対応力の強化

県では、県全体の災害対応力の強化と、県民の皆様の安全・安心の確保のため、市町村をはじめ、警察・消防・自衛隊等の関係機関と連携した実践的訓練等を行っています。

令和5年3月、県庁敷地内に完成した県防災センターでは、災害時には災害関連情報を集約するとともに、関係機関との情報共有、救助部隊の活動調整等を行いながら、災害に対応します。また、南海トラフ地震などの大規模災害時には、九州を支える広域防災拠点としても機能を果たしていきます。



県防災センター



豪雨対応訓練の様子

県防災センター 展示・学習室



プロジェクションマッピング

過去に熊本で発生した災害の記録や、災害発生のメカニズム、防災の取り組みなどを学ぶことができます。また、地域防災の担い手となる自治会・自主防災組織、消防団などの研修、児童・生徒の社会科見学など、様々な方々が防災について学べるような学習プログラムを用意しています。



展示パネル

○開館時間：平日9時～17時
○休館日：閉庁日(土日祝、年末年始)
※団体予約やイベント時は休館日も開館
○入館料：無料

【問い合わせ先】危機管理防災課 ☎096-333-2111

震災ミュージアム「KIOKU」がオープン！



旧東海大学阿蘇キャンパス(南阿蘇村河陽)に体験・展示施設「KIOKU」が7月15日(土)にオープンします。この施設では、映像や遺物の展示、語り部との交流などを通して、熊本地震を追体験するとともに、地震の発生メカニズムや熊本地震から得た教訓を分かりやすく伝えます。

○入館料：県内小中高生無料、一般500円
県外中高生400円、県外小学生300円

○開館時間：9時～17時 ○休館日：毎週月曜日、年末年始

【問い合わせ先】観光国際政策課 ☎096-333-2011

